

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2002-238683(P2002-238683A)

【公開日】平成14年8月27日(2002.8.27)

【出願番号】特願2001-43703(P2001-43703)

【国際特許分類】

A 4 7 B 88/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 B 88/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月27日(2008.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 キャビネット本体に引き出し自在に装着されてなる抽斗本体内の上部に上段抽斗を配設し、該上段抽斗は、水平部分と、奥行側方向に向かって下がり勾配で配設されてなるガイドレールに沿ってスライド自在に取り付けられていると共に、抽斗本体を全閉状態から全開状態へと引き出すと、上段抽斗は下段抽斗の上部を塞いだ状態のまま引き出され、上段抽斗を奥行方向へ押圧することで、自重スライドすることを特徴とする抽斗装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、この発明に係る抽斗装置にあっては、キャビネット本体に引き出し自在に装着されてなる抽斗本体内の上部に上段抽斗を配設し、該上段抽斗は、水平部分と、奥行側方向に向かって下がり勾配で配設されてなるガイドレールに沿ってスライド自在に取り付けられていると共に、抽斗本体を全閉状態から全開状態へと引き出すと、上段抽斗は下段抽斗の上部を塞いだ状態のまま引き出され、上段抽斗を奥行方向へ押圧することで、自重スライドすることを特徴とするものである。